2013年4月25日

各 位

イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長　岡田　元也
（コード番号8267　　東証第一部）
問合せ先 秘書室責任者　　堤　唯見
（電話番号 043-212-6042）

イオン㈱3月度連結営業概況

1．連結営業収益の前期比伸び率

3月度の連結営業収益は4，923億円、前期比114．6%となりました。
※月次の数値は、連結財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上の数値です。

2．月度トピックス

当社は、イオングループ中期経営計画（2011～2013年度）の最終年度となる2013年度において、2014年度以降のさらなる成長に向けた強固な経営基盤を確立することを目的に、3月1日付で組織改革を実施しました。中核事業であるGMS事業では、持続的な利益成長に向けた収益構造改革を着実に実行するため、イオンリテール株式会社の経営体制を強化しました。当社は引き続き「アジアシフト」「大都市シフト」「シニアシフト」「デジタルシフト」の4つのメガトレンドに対応した成長戦略を推進するとともに、グループ構造改革を加速してまいります。

3月1日、イオンリテール株式会社はリカー事業の一部を分割し、リカー専門店の新会社「イオンリカー株式会社」に事業を継承しました。「イオンリカー株式会社」は、2012年9月に設立した「イオンバイク株式会社」に次いで「専門店化」新会社の第二号となります。新会社の本格活動を機に、接客力の一層の強化に取り組むとともに、近隣の商店街との連携を通じて地域に根ざしたリカー専門店の出店を行ってまいります。

3月4日、当社はJ.フロント リテイリング株式会社が保有する株式会社ピーコックストアの全株式を取得し、同社を当社の完全子会社とする株式譲渡契約を締結（4月1日に全株式を取得）しました。3大都市圏に82店舗を有する同社を事業展開に加えることで、都市型業態の基盤強化を一層推進してまいります。

3月8日、当社はインドネシア共和国においてショッピングセンター事業を展開するため、同国最大手の不動産ディベロッパーであるSinarmas Land社と合弁会社「PT AMSL INDONESIA」を設立しました。2014年に1号店となるショッピングセンターをバンテン州タンゲラン県に出店するほか、西ジャワ州ブカシ県区にも出店する計画で、開業に向けた準備を進めてまいります。

3月27日、当社は持分法適用関連会社である株式会社ダイエーの連結子会社化を目的に、公開買付けを実施することを決定しました。本公開買付けに際し、丸紅株式会社は同社保有のダイエー株式のうち、総議決権数の24．3%に相当する株式を応募することで当社と合意しています。また、公開買付けの実施時期については、公正取引委員会の企業結合審査が終了する目途となる7月中旬頃を目指しています。首都圏、中京圏、関西圏の3大都市圏に多くの店舗を有する株式会社ダイエーの連結子会社化により、都市圏におけるシェア拡大を図ってまいります。また、需要集約によるスケールメリットを活かした商品調達に加え、当社が有する物流網、電子マネー「WAON」等のインフラを導入・活用することにより同社の業績向上を図ってまいります。

3．営業概況

3月度は、新入学や新生活、ひなまつり等社会行事に対応した関連商品の品揃えおよび売場展開を強化しました。気温の上昇や販促の実施等により、季節衣料や住居余暇関連商品の売上が伸長したGMS事業が好調に推移したほか、夕方の惣菜強化やひなまつりのごちそう提案等により客数やお買上点数の増加につながったSM事業、調剤や花粉症関連商品の販売を強化したドラッグ・ファーマシー事業も順調に推移しました。カード会員対象の販促企画が奏功した総合金融事業、メンテナンス事業の受注を順調に拡大したサービス事業のほか、ディベロッパー事業、専門店事業に推移しました。

4．主な連結各社の月次売上高（取扱高）前期比伸び率一覧

（単位：%）

2014年2月期	3月度			当期累計		
売上高	全店	既存店	対象期間	全店	既存店	対象期間
イオンリテール㈱	105.9	103.6	3/1～3/31	105.9	103.6	3/1～3/31
イオン北海道㈱	104.3	103.6	3/1～3/31	104.3	103.6	3/1～3/31
イオン九州㈱ （注1）	111.7	100.2	3/1～3/31	111.7	100.2	3/1～3/31
マックスバリュ北海道㈱	107.3	107.0	3/1～3/31	107.3	107.0	3/1～3/31
マックスバリュ東北㈱ （注1）	109.0	101.2	3/1～3/31	109.0	101.2	3/1～3/31
マックスバリュ東海㈱ （注2）	121.4	97.3	3/1～3/31	121.4	97.3	3/1～3/31
マックスバリュ中部㈱ （注3）	123.5	100.8	3/1～3/31	123.5	100.8	3/1～3/31
マックスバリュ西日本㈱ （注1）	107.9	98.8	3/1～3/31	107.9	98.8	3/1～3/31
マックスバリュ九州㈱ （注1）	110.4	96.2	3/1～3/31	110.4	96.2	3/1～3/31
ミニストップ㈱	103.1	97.5	3/1～3/31	103.1	97.5	3/1～3/31
㈱コックス （注1）	135.4	107.4	3/1～3/31	135.4	107.4	3/1～3/31
㈱ジーフット （注1）	105.9	106.4	3/1～3/31	105.9	106.4	3/1～3/31
㈱イオンファンタジー （注1）	136.3	109.0	3/1～3/31	136.3	109.0	3/1～3/31

取扱高	ｶｰﾄﾞｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞ	ｶｰﾄﾞｷｬｯｼﾝｸﾞ	対象期間	ｶｰﾄﾞｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞ	ｶｰﾄﾞｷｬｯｼﾝｸﾞ	対象期間
イオンクレジットサービス㈱（現イオンフィナンシャルサービス㈱）（注1）（注4）	129.6	139.6	3/1～3/31	124.8	124.1	2012/2/21～2013/3/31

注1：決算期変更に伴い、当月度より月次数値の対象期間を1日から末日としています。
注2：マックスバリュ東海㈱は、2013年3月1日付でイオンキミサワ㈱と合併したため、マックスバリュ東海㈱の数値には旧イオンキミサワ㈱店舗の売上高を含みます。
注3：マックスバリュ中部㈱は、2013年3月1日付でマックスバリュ中京㈱と合併したため、マックスバリュ中部㈱の数値には旧マックスバリュ中京㈱店舗の売上高を含みます。
注4：イオンクレジットサービス㈱の前期比は、前年の対象期間を3月度：2012年2月21日～2012年3月20日、累計：2011年2月21日～2012年2月20日としています。

＜ご参考＞

開閉店の状況

	3月度（3/1～3/31）		当期累計（3/1～3/31）		
	開店	閉店	開店	閉店	3月末店舗数
GMS（総合スーパー）	3(0)	0(0)	3(0)	0(0)	599(118)
S M（スーパーマーケット）	11(3)	5(3)	11(3)	5(3)	1612(581)

※グランドオープン日を開店日としています。
※期末店舗数には、開閉店のほか、業態変更等の数を反映しています。
※（ ）内は、持分法適用関連会社の実績です。

イオンの電子マネー「WAON」の状況

当月末の累計発行枚数：約3，180万枚　月間利用金額：約1，140億円　月間平均単価：約1，720円
利用可能箇所：約160，000箇所
地域貢献「WAON」（寄付つき）：合計76種類（のべ35府県、23市町、20団体）
※地域貢献「WAON」の詳細については下記URLをご参照ください。
http://www.waon.net/special/region/index.html